

平成 25 年 7 月 4 日

各 位

東京都中央区日本橋二丁目 15 番 3 号
 株 式 会 社 エ ス プ ー ル
 代表取締役会長兼社長 浦 上 壮 平
 (コード番号:2471)

問 い 合 わ せ 先 :
 取締役管理本部担当 佐 藤 英 朗
 電 話 番 号 03 (3517) 6633 (代 表)

平成 25 年 11 月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 1 月 10 日に公表しました平成 25 年 11 月期第2四半期連結累計期間(平成 24 年 12 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日)の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 11 月期第2四半期連結累計期間(平成 24 年 12 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日)の業績予想と実績値との差異

(単位:百万円/未満切捨)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,547	29	22	15	6 円 09 銭
実 績 値 (B)	2,600	59	52	44	17 円 08 銭
増 減 額 (B - A)	52	29	29	28	—
増 減 率 (%)	2.1	99.4	130.6	180.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 24 年 11 月期第2四半期)	2,551	23	17	5	2 円 17 銭

(注)当社は、平成 24 年 12 月 1 日付けで普通株式 1 株につき 100 株の割合で株式分割を行っております。前期第2四半期実績の 1 株当たり四半期純利益は、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、ビジネスソリューション事業にて、障がい者雇用支援サービスが展開する農園の企業参画が予想以上のペースで進んだほか、人材ソリューション事業にて、閑散期での受注が順調に推移したため、前回予想を上回る結果となりました。

一方、損益面につきましては、ビジネスソリューション事業のロジスティクスアウトソーシングサービスにおいて、計画していた発送代行サービスの第2センターの開設が下半期にずれ込んだため、見込んでいた開設初期費用がなくなったこと、及び相対的に利益率の高い障がい者雇用支援サービスの売上が増加したことにより、営業利益、経常利益並びに四半期純利益が、前回予想を大幅に上回る結果となりました。

3. 通期の業績予想について

通期の売上予想につきましては、上半期は概ね計画通りに推移し、下半期も期初事業方針を粛々と実行していくことから、前回発表の予想水準になるものと判断しております。

通期の利益予想につきましては、第3四半期以降、事業のさらなる拡大に向けた投資を計画しており、前述の発送代行サービスの第2センターを開設するほか、障がい者雇用支援サービスにつきましても、新農園や就労移行支援施設の整備を計画前倒しで進め、また、人員増強も行う予定であることから、前回発表の業績予想を据え置くことといたしました。

【ご参考】平成 25 年 11 月期の連結業績予想(平成 24 年 12 月1日～平成 25 年 11 月 30 日)

(単位:百万円/未満切捨)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期連結業績予想 (A)	5,262	80	66	50	19 円 47 銭
前 年 度 実 績 (B)	4,941	48	29	△30	△11 円 92 銭
増 減 額 (A - B)	321	31	37	81	—
増 減 率 (%)	6.5	65.8	124.8	—	—

(注)当社は、平成 24 年 12 月1日付けで普通株式1株につき 100 株の割合で株式分割を行っております。前年度実績の1株当たり当期純利益は、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

以 上

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることにご留意ください。